



しいば

議会だより

第100号

令和2年11月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL (0982) 67-3209
村内無料電話7-67-0091

9月定例会
昭和61年度決算

椎葉村議会
昭和62年統一選挙定員削減
18議席を16へ
常任委員会の紹介

総務常任委員会(村行政全般)

文教厚生常任委員会(教育・福祉・福祉厚生)

産業建設常任委員会(農林・土木)

親善ソフトボール大会

編集後記

国道265号線 橋梁完成もまちか!

100号をたどる (2~6)
9月定例会 (7~9)
総括質疑 (9~10)
一般質問 (10~11)
議員活動報告 (11)
議会の動き (12)

村民と議会のかけはしとなって

議会だより100号発行に寄せて

椎葉村議会議長 岡村 正司

村民の皆様には、平素から議会に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、月日が経つのも早いもので議会だよりは、昭和62年に創刊号を発行し、このたび第100号を迎えることとなりました。

議会だよりの使命は、村民と議会をつなぐパイプ役として、その活動状況や議会として決定したことを広く村民の皆様へお知らせすることです。限られた紙面の中で、村民の皆様が求める情報を的確に掲載することに苦慮するところですが、今回の100号という節目を契機として、議会だよりの長い歴史を振り返るとともに、村民の皆様のご意見をいただきながら、紙面の充実に一層の努力をしてみたいと思います。まずは、お手に取っていただき、村政や議会活性化について関心を持っていただければ幸いです。

今後とも、より開かれた分かりやすく親しまれる議会となるよう全力で取り組んでいきますので、村民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



議会だより100号記念号発行にあたって

議会だより編集委員会委員長 河口 吉弘

議会だよりは、昭和62年に創刊されました。その第1号によると、当時の在職議員は議長 那須光登氏、副議長 岡村実義氏、議員は松岡今朝男氏、松岡政光氏、浜砂重行氏、尾前達朗氏、那須保氏、椎葉明氏、椎葉数雄氏、椎葉昭義氏、尾前新了氏、椎葉杉夫氏、黒木澄男氏、椎葉久八氏、椎葉浄信氏の16名、議会事務局長は、古川三鶴亀氏でした。

現在の議会だよりはA4版カラー刷りですが、第1号から暫くはB5版、白黒刷りで発行されていました。今のA4版に比して小スペースでしたが、議会における鋭い質問や質疑に議員としての熱意と熱気を感じ取らずにはいられません。

私どもも、議会だよりを教科書として先輩議員に学び、決意を新たに「村民が椎葉に生まれ、住んでよかった」と実感できる村づくりに邁進していかなければなりません。

議会だより発刊100号を機に、今後は村民参加のモニター制度を取り入れるなど、議会活動を分かりやすく、また、身近で親しみやすい議会だよりづくりに取り組んでいく所存です。村民の皆様のご意見、ご提案を心からお待ちしております。



議会だより33年の歩み

こんなことがありました!!

昭和62年 1号

- ・椎葉村議会だより発刊
- ・昭和62年統一地方選挙定員削減(18議席から16議席へ)
(議長 那須光登(新)、副議長 岡村実義(新))



昭和63年 2号 3号 4号

- ・昭和63年度一般会計予算総額33億4,800万円
- ・椎葉中学校醇和寮完成
- ・高冷地大根栽培が19ヘクタールの面積、合戦原で始まる
- ・矢立高原キャンプ場オープン
- ・尾八重小学校跡地にマルミヤ電子工業進出



昭和64年・平成元年 5号 6号 7号 8号

- ・議会構成(議長 那須光登(再)、副議長 岡村実義(再))
- ・1月7日 昭和天皇陛下崩御
- ・梅尾地区において「はたとと神楽と音楽の夕べ」イベント開始
- ・台風11号襲来、大河内の地すべりで30世帯百余名が避難生活



33年椎葉村議会だより100号

椎葉村議会だより第100号発刊によせて

椎葉村長 椎葉 晃充



椎葉村議会だより、第100号発刊、誠におめでとうございます。

創刊以来、村民に根ざした議会活動による紙面の充実に力を注がれ、行政情報はもちろんのこと、身近なニュースや生活情報など、タイムリーな情報を掲載され、村民の皆様には有益な情報を発信されておりますことに敬意を表する次第です。

議会を振り返ってみますと、平成22年の口蹄疫では、職員と共に消毒作業にあたって頂き、近年では、「かてーりネット」での議会中継を開始するなど、村民と一体となった開かれた議会を目指していることに、行政としても、村民の方々から「住んで良かった」と思われる村にするよう、より一層、議会と研鑽しなければならないと気持ちを持ちを新たにいたしました。

今後とも、村政への変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに村民の皆様には愛される議会報誌として、議会がますますご発展されますことを、心からお祈り申し上げます。

平成2年 9号 10号 11号

- ・平成2年度一般会計予算総額4億2,750万円
- ・第3回日本分水嶺サミットが椎葉村で開催



平成3年 12号 13号

- ・統一地方選挙において16名の新議員当選(議長那須光登(再)、副議長岡村実義(再))
- ・椎葉神楽、重要無形民俗文化財に指定される
- ・台風19号襲来、尾前地区6戸が全壊したが、人的被害無し



平成4年 14号

- ・特別養護老人ホーム「平寿園」開園
- ・物産センター「平家本陣」オープン



平成5年 15号 16号

- ・議会構成(議長 那須光登(再)、副議長 椎葉数雄(新))
- ・柳田国男ゆかりサミットを尾向小学校体育館で開催



平成6年 17号 18号

- ・平成6年度一般会計予算総額5億2,600万円
- ・誕生祝い金、1人につき10万円支給する条例を制定



平成7年 19号 20号 21号

- ・統一地方選挙において定員削減(16議席から14議席へ)(議長 椎葉浄信(新)、副議長 椎葉和男(新))
- ・戦後50年、慰霊塔を宮の下から村体育館横に移転され、50回法要が行われた
- ・椎葉民俗芸能博物館建設工事始まる
- ・国見トンネル貫通



平成8年 22号 23号 24号 25号

- ・平成8年度一般会計予算総額6億1,000万円
- ・政務調査にて中国椎茸生産状況視察



平成9年
26号
27号

- ・議会構成
(議長 椎葉浄信(再)、
副議長 黒木澄男
(新))



平成10年
28号
29号

- ・椎葉民俗芸能博物館完成
・十根川地区に木工芸体験施設と
「大神館」がオープン



平成11年
30号

- ・統一地方選において1
4名の新議員当選(議長
椎葉浄信(再)、副議長
松岡政光(新))



平成12年
31号 32号

- ・椎葉村総合保健センター「すこ
やか館」完成



平成13年 33号 34号 35号

- ・議会構成(議長 甲斐了英(新)、副議長 松岡政光(再))
・ふるさと林道完成



平成14年 36号 37号

- ・平成14年度一般会計予算総額51億5,000万円
・公設民営歯科診療所「おおり歯科クリニック」開設
・村道上椎葉
五家荘県道
昇格促進期
成会設立



平成15年 38号 39号

- ・中山トンネル開通
・統一地方選挙において14名の新議員当選(議長 甲斐美義(新)、
副議長 下田康士(新))



平成16年
40号



平成17年 41号 42号

- ・議会構成(議長 甲斐美義(再)、副議長 右田重人
(新))
・台風14号襲来、大災害が発生し3名の犠牲者
・平成17年度一般会計補正予算総額101億9千9
百万円



平成18年 43号 44号 45号

- ・中椎葉トンネル開通



平成19年 46号 47号 48号

- ・平成19年度一般会計予算総額39億3,900万円
・統一地方選挙において定員削減(14議席から10議席へ)
(議長 甲斐美義(再)、副議長 右田重人(再))



平成20年 49号 50号 51号 52号

- ・平成20年度一般会計予算総額37億円
- ・全員協議会規程を制定



平成21年 53号 54号 55号 56号

- ・平成21年度一般会計予算総額49億6,800万円
- ・議会構成(議長 那須清(新)、副議長 椎葉芳一(新))
- ・地デジ対策及び庁舎改築調査特別委員会を設置
- ・県乾椎茸品評会14年ぶり団体優勝



平成22年 57号 58号 59号 60号

- ・水上村との境界が確定、面積が1.1平方キロメートル増
- ・口蹄疫発生により特別委員会を設置、支援対策を国へ要望
- ・村かて〜りネット開通



平成23年 61号 62号 63号 64号

- ・統一地方選挙において10名の新議員当選(議長 那須清(再)、副議長 椎葉芳一(再))
- ・国道327号岩屋戸バイパス全線開通



平成24年 65号 66号 67号 68号

- ・役場新庁舎完成
- ・仲塔小学校閉校



平成25年 69号 70号 71号 72号

- ・松尾中学校閉校
- ・議会構成(議長 那須清(再)、副議長 椎葉邦博(新))
- ・那須清議長が宮崎県町村議会議長会会長に就任



**平成26年
73号 74号 75号 76号**

- ・国道327号石原工区開通
- ・椎葉村政125周年



**平成27年
77号 78号 79号 80号**

- ・統一地方選挙において10名の新議員
当選(議長 那須清(再)、副議長 椎葉邦
博(再))
- ・松尾大いちょうふれあいセンター完成
- ・三村議会(諸塚村、西米良村、椎葉村)協議
会設立



**平成28年
81号 82号 83号 84号**

- ・9月定例会よりテレビ生配信開始
- ・平寿園敷地造成工事完了
- ・古川三鶴亀氏県伝統工芸士認定



**平成31年・令和元年
93号 94号 95号 96号**

- ・統一地方選挙において10名の新議員
当選(議長 岡村正司(新)、副議長 那
須重美(新))
- ・国道327号諸塚第一トンネル開通



**平成29年
85号 86号 87号 88号**

- ・議会構成(議長 椎葉邦博(新)、副議長
岡村正司(新))
- ・平寿園が若宮に移転新築
- ・県乾椎茸品評会椎葉村が4連覇
- ・映画「しゃぼん玉」椎葉村で上映



**平成30年
89号 90号 91号 92号**

- ・県市町村対抗駅伝大会で椎葉村が走姿
顕心賞を獲得
- ・椎葉村消防団が日本消防協会特別表彰
「まとい」受章
- ・仲塔溪谷の館完成
- ・中学生発想による観光案内の道路カ
ラー舗装完成(棚田展望所、大いちょう)



**令和2年
97号 98号 99号 100号**

- ・地域医療を守る条例を議員発議により制定
- ・椎葉村交流拠点施設「カテリー」オープン



令和2年9月定例会

令和2年9月定例会が9月3日から17日まで開催され、報告案件2件、承認案件1件、令和2年度補正予算や条例の改正、辺地計画の変更などの議案13件、令和元年度歳入歳出決算認定8件などを審議、いずれも提案どおり可決しました。また、4名の議員（椎葉一、河口吉弘、那須重美、尾前秀久）が一般質問を、令和元年度決算に関して3名の議員（河口吉弘、那須重美、尾前秀久）が総括質疑を行いました。

9月定例会で決まったこと

議案番号	件 名	審議審査結果
報告第 3号	令和元年度椎葉村財政健全化判断比率の報告	報告
報告第 4号	令和元年度椎葉村公営企業会計における資金不足比率の報告	報告
承認第14号	令和2年度椎葉村一般会計補正予算(第4号)	承認
認定第 1号	令和元年度椎葉村一般会計会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
認定第 2号	令和元年度椎葉村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
認定第 3号	令和元年度椎葉村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
認定第 4号	令和元年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
認定第 5号	令和元年度椎葉村電気事業特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
認定第 6号	令和元年度椎葉村介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
認定第 7号	令和元年度椎葉村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
認定第 8号	令和元年度椎葉村ケーブルネットワーク特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
議案第55号	令和2年度椎葉村一般会計補正予算(第5号)	可決(全員一致)
議案第56号	令和2年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議案第57号	令和2年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議案第58号	令和2年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議案第59号	令和2年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議案第60号	令和2年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議案第61号	令和2年度椎葉村ケーブルネットワーク特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議案第62号	夜狩内辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	可決(全員一致)
議案第63号	鹿野遊辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	可決(全員一致)
慰安第64号	不土野辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	可決(全員一致)
議案第65号	松尾日当辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	可決(全員一致)
議案第66号	大河内辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	可決(全員一致)
議案第67号	令和2年度電源立地対策交付金事業(椎葉村高規格救急自動車購入事業)物品購入契約の締結について	可決(全員一致)

令和2年度補正予算

令和2年度一般会計補正予算(承認第14号)

会計名称	補正前の額(千円)	補正額(千円)	補正後の額(千円)
一 般 会 計	6,238,898	21,683	6,260,581

(一般会計補正予算の主な内容)

- 感染症対策休業要請協力金、感染症対策支援金 170万円
- 村道「中尾～小ヶ倉線」ほか災害復旧測量設計委託料 1898万3千円

令和2年度補正予算(議案第55号～61号)

会計名称	補正前の額(千円)	補正額(千円)	補正後の額(千円)
一 般 会 計	6,260,581	430,988	6,691,569
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	64,153	1,363	65,516
国民健康保険病院事業特別会計	563,907	12,239	576,146
電 気 事 業 特 別 会 計	140,108	0	140,108
介 護 保 険 特 別 会 計	410,274	400	410,674
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	88,734	341	89,075
ケーブルネットワーク特別会計	82,531	△ 2,374	80,157

(一般会計補正予算の主な内容)

○議会のタブレット端末化に関する費用	258万9千円	○上椎葉ダム景観整備委託料	110万円
○電子入札システムに関する用	590万7千円	○女神像ほかトイレ改修工事	1,711万6千円
○第6次長期総合計画策定委託料	316万8千円	○OGIGAスクール構想に伴うシステム及びパソコン等の購入に関する費用	6,613万4千円
○ケーブルネットワーク特別会計繰出金	247万2千円減額	○鹿野遊ふれあいセンター雨漏り防止工事	516万7千円
○移住・定住促進住環境整備補助金	278万2千円	○コロナによるアジア友好の翼事業補助金	355万円減額
○地籍調査測量委託料	2,556万1千円減額	○7月豪雨による道路災害復旧事業工事請負費	2億9010万円
○保健センターのコロナ対策関連工事費及び測量設計委託料	4,443万5千円		
○コロナ対策公有林整備事業(林業事業体)	1,612万7千円		
○間伐促進事業補助金	880万6千円減額		
○コロナ感染による平家祭りや地区イベント中止による補助金	3,486万9千円減額		



保健センター「すこやか館」



女神像公園トイレ



鹿野遊ふれあいセンター

物品購入契約の締結について

- 購入契約の目的 令和2年度電源立地交付金事業による高規格救急自動車購入事業
- 契約金額 26,147,880円
- 契約相手方 宮崎トヨタ自動車株式会社 代表取締役 佐土嶋恒夫
- 納入期限 令和3年3月26日

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書を採択

9月定例会最終日の17日、議員発議による「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を全員一致で採択、椎葉村議会として衆・参各議長、内閣総理大臣及び関係大臣に対して意見書を提出することとしました。

意見書の内容は、新型コロナウイルス感染症の長期化により、地方財政が厳しい状況になることに対する国の財政対策を求める意見書の採択です。

令和2年10月第3回臨時会

令和2年第3回臨時会が10月6日に開催され、令和2年度の専決に伴う補正予算の承認案件2件、補正予算議案1件、工事請負契約締結についての議案2件及び体育館、集会センター設置条例の一部を改正する議案2件を審議、いずれも提案どおり議決いたしました。

第3回臨時会で審議・議決したこと

議案番号	件名	審議審査結果
承認第15号	令和2年度椎葉村一般会計補正予算(第6号)	承認(全員一致)
承認第16号	令和2年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第3号)	承認(全員一致)
議案第68号	令和2年度椎葉村一般会計補正予算(第7号)	可決(全員一致)
議案第69号	工事請負契約の締結(仮称尾向保育所新築工事)	可決(全員一致)
議案第70号	工事請負契約の締結(尾向地区拠点施設新築工事)	可決(全員一致)
議案第71号	椎葉村社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正する条例	可決(全員一致)
議案第72号	集会センター設置条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)

令和2年度補正予算(承認第15～16号)

会計名称	補正前の額(千円)	補正額(千円)	補正後の額(千円)
一般会計	6,691,569	27,315	6,718,884
電気事業特別会計	140,108	△ 6,318	133,790

(一般会計歳出補正予算の主な内容)

- 治山事業の工事請負費 247万6千円
- 道路橋梁災害復旧測量設計委託料 1,596万4千円
- 林道災害復旧測量設計委託料 650万円

令和2年度補正予算(議案第68号)

会計名称	補正前の額(千円)	補正額(千円)	補正後の額(千円)
一般会計	6,718,884	165,236	6,884,120

(一般会計歳出補正予算の主な内容)

○移住・定住促進住環境整備補助金 100万円
 ○災害弔慰金 1,750万円
 ○台風10号災害廃棄物処理業務委託料 3,100万円
 ○林道等災害復旧工事請負費 4,714万2千円

○商工業振興事業補助金 537万円
 ○台風10号に伴う消防団員出動手当 411万2千円
 ○鹿野遊体育館解体撤去工事及び設計委託料 1,919万1千円

工事請負契約の締結について

○尾向保育所新築工事(敷地面積795.67㎡ 延べ床面積276.16㎡)

契約金額 101,486,000円
 工期 令和2年10月7日～令和3年3月1日
 契約の相手方 株式会社 協栄 代表取締役 奈須 勝彦

○尾向地区拠点施設新築工事(一部2階建 延べ床面積372.49㎡)

契約金額 81,400,000円
 工期 令和2年10月13日～令和3年3月20日
 契約の相手方 株式会社 坂下組日向支店長 海野 公裕



左が尾向地区拠点施設、右が尾向保育所

条例の一部改正について

○「椎葉村社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」は、台風10号災害による鹿野遊地区体育館の解体撤去による、社会体育施設から除く条例の改正。

○「椎葉村集会センター設置条例の一部を改正する条例」は、台風10号により被災した尾八重地区「滝集会センター」の解体撤去による、集会センター設置条例から除くための条例改正。



被災した鹿野遊地区体育館

令和元年度決算に対する総括質疑



河口吉弘 議員

質疑 1 7月にオープンした交流拠点施設「かてりえ」の有効利用を図るためには、村民の幅広い意見を聞く「運営委員会」の設置が必要。串間市の読書通帳発行や感想文コンクールの取り組みを行い、図書に親しむ体制づくりが必要ではないか。

答

コロナ禍により運営が低調。運営委員会を構築してしっかり協議していきたい。読書通帳や読書感想文については検討するよう指示を出した。



質疑 2 「ひえつきの里」キャンプ場の運営に当たっては、寄贈してもらった周辺山林を利用した子ども達の山学校とか林業学習の場としてキャンプ場の利活用を専門的に検討すべきではないか。

答

寄贈してもらった山林を活かすためには、子ども達の学習の場やモデル林としての構想検討など、少し時間をいただきたい。



質疑 3

日向市や延岡市、宮崎市村人会の再興に取り組むべきではないか。

答

村人会が高齢化や役員のなり手がいないなどにより、村人会の活動が全く行われていない。現状では、県内の村人会復活に向けて努力していきたい。



那須重美 議員

質疑 1 本村の毎年度の予算措置による補助事業や支援事業については、今後の本村の活性化による村づくりの推進及び村民の生活環境の改善等が掲げられている。そういった数多い補助事業、支援事業について、今一度 検証の必要があると考えるが見解を求める。



答

補助事業選定時に、選定委員会、庁議等にて議論している。そのような中、各部会、審議会、又、村民の要求を聞きながら、補助金が妥当であるかどうかというの議論している。公正に平等に補助金の制度そのものを取り入れて参りたい。

質疑 2

毎年執行しているから、予算措置を講じるものでなく、その年度の状況に沿った事業内容によって執行するよう、検証が必要と考える。継続を目的とする事業として継続しているか、地区の活性化や村民の所得向上にどのように反映しているか、事業として必要性があるかなど、検証が重要と考える。又、事業要綱に沿った事業内容のものかなど、検証に

よって採択の必要性が求められる。今一度、検証の必要性を認識し、執行して頂く様、願います。



尾前秀久 議員

質疑 1 椎葉の名産品を長く作り続けてきた、1つの工場が閉めることに至った。工場の設備投資にかかる費用も引き金になっている。今後村として施設整備にかかる費用に対して十分な補助金の必要を考えるが、見解を伺いたい。

答 年度当初の予算編成時に このままでもいいか、見直すべきか、廃止すべきかということを十分議論しながら予算付けをしている。補助事業制度をしっかり支えていきたい。

答 商売されている方に対して補助体制を作っている。村に相談していただければ色々な形で支援できる状況がある。是非相談をしていただきたい。

村長に聞く! ～ 一般質問 ～



椎葉 一 議員

質問 将来に向けた農用地の耕作維持管理について

問1 人口減少や高齢化により、集落の中で農地の維持管理の継続が難しくなり、自然環境の変化や獣害被害の増加により、耕作放棄地が増加している。中山間支払制度が4期20年、国、県、市町村対策により維持管理、地域の活性化がなされてきた。令和2年度から第5期対策が始まったが、今後耕作放棄地を増やさない取り組みとして、協定不参加の農地を含め、農業委員会を通してどう守られていくべきなのか答弁を求める。



答 少子高齢化等により荒廃農地が年々増加傾向にあり、農業委員会調査により、43筆3.4ヘクタールある。要因として、農業者の高齢化や労働力不足、耕作条件や有害鳥獣による被害等があり、その為、対策として中山間地等直接支払制度の活用がある。次に村独自の政策があり、H24年度から農業受託組合の組織化や農地の貸し借り支援策により、耕作放棄地を未然の防止する対策を行っている。又、農地を守る対策と

して、有害鳥獣対策、駆除対策、金網柵、電気柵防護ネット、農業委員会、農作業受託組合等の連携を密にして、耕作放棄地の抑制及び解消に努めていくので、ご理解と、ご協力をいただきたい。

問2 高齢化社会が進む中、近い内に耕作放棄地が一斉に増えるという懸念がある。原因として、役員のなり手、引き受け手が高齢化している。農業ハウス、畜産農家の飼料米等、農産物生産による労働力不足を補う為の対策、椎葉村への農業移住希望者の受け入れ、農作業受託組合、機械銀行システム利用、生産農場の確保を必要とし、次世代にどう農地を引き継げるか再度見解を求める。

答 荒廃農地については、集落の緑辺部、集落の外れたところに位置しており、機械化が困難である。そのために、農地としての利用が見込めず荒廃が著しく進んでいるところである。このような農地については、本村の特産である椎茸圃場の利用や農地以外での利用等を検討したい。中山間地直接支払い制度事業については、今後もより多くの人が参加出来るよう努めていきたいと思う。農業等の整備事業は、受託組合や色々な制度を前向きに進めていきたい。この耕作採地人口減少の中ではどうしてもできない部分が出てくるので利用については色々考えていくので、ご理解をいただきたい。



河口吉弘 議員

質問 村民参加の村政運営について

問1 少子・高齢化、人口減少の進行により集落機能の喪失や地区存続も危ぶまれる状況。人口が10年前に比べて梶尾地区が32.7%、尾八重地区が31.6%、仲塔地区が31.5%減少している。この現状を村長はどう認識されているのか。

将来、集落や地区の機能を維持、存続していくために、集落で現状や課題について話し合い、その対策を行政と一緒に取り組む仕組みづくりが必要と思うが。



答 今年3月に第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。計画では年間出生者数20人、年間10人以上の転入者を目標に、人口減少に歯止めをかけたい。そのために総合戦略プロジェクトチームを立ち上げ、意見や提案を伺い問題解決に取り組んでいく。

問2 一部の集落や地区の機能維持が深刻な状況を迎えようとしている。この状況をどのように認識されているのか

改めて尋ねる。自分が住む集落の5年先、10年先がどうなっているのかなどの集落点検を行い、課題解決に住民自らが取り組むと同時に、村と一緒に解決していく村づくりの取り組みが必要ではないか。

答 このことには常に頭を悩まし、危惧している。これまでサポーター制度や集落支援員を配置するなど、村民の意見をいただいている。また、各部会や審議会、協議会などからも話を聞き、施策に取り組んでいる。村民の声を聴くのが一番大事である。

問3 8月1日現在、65歳以上のひとり暮らし世帯、65歳以上で構成する高齢世帯が450世帯、680人もおり、5年、10年先が危惧される。集落点検に基づき将来を見据えた計画づくりを施策に取り入れていくことが必要ではないか。

村づくりについて幅広く村民の声を反映する委員会等の設置に取り組んでいただきたいと思うが。

答 そうあるべきと考えている。91の集落の中で隣近所、自分の家庭がどうなるか、跡継ぎは帰ってくるのかなど、実態を捉えて計画に生かしていくことも必要。村民が何を必要としているのかについて把握すべきと担当課と協議している。



質問 村民要望の多い道路整備について

問1 道路整備等による村民からの要望等は大半が小規模なもので、しかも現状が当たり前、又、行政への相談についても相談し難い現状にあるものと思われる。



那須重美 議員

行政として村民からの要望や相談に対してどのような対応がなされているのか。又、こうした村民の気持ちをどのように受け止めているのか見解を求める。

答 要望に対しては真摯に対応していきたい。住民が相談し難い状況であれば改善に努める。又、村作業員による

対応や建設業者等への委託など可能な限り、早期の対応を図っていく。

問2 側溝であったり、崩土であったり、除草であったり、地域に住む村民としては、整備しようにもできない作業が多々あるようにも思われる。過去において、崩土については、重機の専属職員、側溝の砂利除去等については、作業員、除草については、森林組合等への委託といった整備をしていたようにも記憶するところである。過去の整備状況も踏まえ、是非、即座に整備の執行をされる様、見解を求める。

答 6名の作業員において、村内こまなく作業を行い、村民より感謝をして頂いている。手の行き届かない部分については、建設業者に委託、又、お願いしている。色んな相談事については、支援員の方々に相談するか、又、議員各位においても話を聞きながら行政に届けて頂きたい。



質問 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた村の対策について

問1 陽性者、重篤者、軽傷者が確認された場合、本村の受け入れ態勢は。検査キットの数は又、村内での治療はできるのか、その他必要と思われる対策について村長の答弁を求める。

尾前秀久 議員

答 本村ではPCRの検査の検体採取と、抗原検査の実地は可能、受け入れについては、県、保健所により行われ、県内の専門医療機関が逼迫し、保健所等の指示があった場合のみ想定している。現在、検査キット7キット、抗原検査用10キット、必要に応じ追加可能。

問2 これから先、乾燥期に入り第3波の恐れを危惧する見方もある中、危機感を持ちながらも、安心して生活できる施策を周知して頂きたい。高齢者、幼い子供又家畜の世話等の対策も必要と思われる。

答 村民が危機感を持ち対応していることに感謝している。病院事務局先生方も万が一に備えて手順を示している。又様々な状況に応じて各課の対策を立てている。

問2 この未曾有のコロナウイルスに対して、村長の決意を伺いたい。

答 私は常がねそういった決意は持っている。しかし村民の方々の良識ある行動をお願いするものであり、ご理解を頂きたい。

議員活動報告

「カテリエ」視察(7月7日)及びオープンセレモニー(7月18日)

交流拠点施設「カテリエ」のオープンを前に議員全員による視察を行った。それぞれの施設の説明を受け、最新技術の導入による施設で、本村の拠点となることを期待するところである。

また、オープニングセレモニーにおいては、関係者出席のもと「Katerie」に込める期待感をにじませ、バルーンリリースも行われた。図書館ぶん文Bun、ものづくりLab、中でも交流ラウンジ、キッズスペースなど施設の完成度を体験し、今後の本村の拠点施設として求められる必要性を実感したところである。



常任委員会所管事務調査 (7月16日、7月31日)

7月16日と31日の2日間にわたり、総務文教及び産業福祉両委員会合同で、村内の各施設の改修状況等の調査を実施した。保育所施設(大河内、松尾保育所)改修工事及び矢立キャンプ場のトイレ改修、ひえつきの里キャンプ場の合併処理浄化槽の設置など、保育環境や施設改修前に比して子ども達や利用者の利便性改善が図られていた。ただ、キャンプ場については、新型コロナウイルス感染により利用客減少の影響も見られた。

また、大河内小学校体育館については、計画書どおりの改修が確認できたものの、本校舎と体育館間の裏山斜面の崩落の危険性があることを確認、速やかな現地調査と対策を講じる必要がある。

「仙人の棚田」展望台については、展望台下部の造林木の生育より、松尾小学校などの展望が遮蔽されるなど、展望範囲が縮減されている。早期に所有者との協議を行う必要がある。また、来訪者の声を聴くための方策の検討も必要であると感じたところである。



大河内保育所



大河内小学校



大いちょう展望台

議会の動き

7月	22日	高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会総会・講演会	宮崎市
		宮崎県鉄道整備促進期成同盟会総会	宮崎市
		「みすず会」総会	宮崎市
	27~28日	例月出納検査	監査室
8月	31日	常任委員会合同所管事務調査	松尾地区
		東臼杵郡町村議会議長会	日向市
	19日	日向・東臼杵町村議会議長連絡会要望活動	書面要望
		第5回議会運営委員会	委員会室
		第7回全員協議会	委員会室
	26日	議会改革特別委員会	委員会室
		国道265号改良整備促進期成同盟会定期総会	書面決議
	27~28日	例月出納検査	監査室
	27日	令和元年度監査講評	大会議室

9月	3~17日	9月村議会定例会	議場
	3日	第6回議会運営委員会	委員会室
	4日	第8回全員協議会	委員会室
	24日	村椎茸部会品評会表彰式	JA椎葉支店
	24~25日	例月監査	監査室
10月	28日	入郷地域開発期成同盟会要望活動他	宮崎市
		村議会第3回臨時会	議場
	6日	議会だより編集委員会	委員会室
		議会改革特別委員会	委員会室
	13日	議会だより編集委員会	委員会室
	16日	県森林林業活性化議員連盟連絡会議総会	宮崎市
	19日	日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡協議会要望活動他	宮崎市
	23日	県町村監査委員協議会ブロック別研修会	日之影町
	26日	日向東臼杵広域連合議会運営委員会	日向市
	26~27日	例月監査	監査室
	29日	村戦没者追悼式	村慰霊塔
		県町村議会議長会臨時総会	新富町

台風10号災害に対するお見舞い

このたびの台風10号により、村内で大規模な土砂災害が発生、亡くなられた方やいまだ行方がわからない方がいらっしゃいます。また、村内の各地区で道路崩壊や農作物の被害など、広範囲にわたり被害を被っています。



お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、行方不明者のご家族はじめ、被災した方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、警察、消防、建設業ほか多くの関係機関や他市町村からの応援に感謝申し上げます。一日も早く、行方不明者の発見と安心して元の生活を取り戻せますよう、心からお祈り申し上げます。



捜索状況を視察

令和2年10月 椎葉村
議会議員一同

議員活動報告

入郷地域開発期成同盟会総会及び研修会(7月1日)

美郷町において総会が開催され、令和元年度会務報告、決算報告、令和2年度事業計画、予算について審議がなされた。

令和2年度の本村からの要望案件は、有害獣による農林業被害への対策、ひむか神話街道の改良、地上デジタル難視聴地域で運営するケーブルテレビ事業に対する支援の3件で、3町村で13件の要望を7月に県出先機関、8月に知事・県議会議長等への要望活動を行うことを決定した。



編集後記

議会だよりが100号に至るまでに編集に携わった先輩議員や議会事務局職員の皆様の努力に敬意を表したいと存じます。議会報告、議員質問、収支予算や決算等詳細に掲載され、分かりやすい広報誌ではないでしょうか。

年号が平成から令和となり、今年の初旬に中国武漢市から新型コロナウイルスが発生した時に頭に浮かんだ2人の偉人がいました。皆様もご存じと思いますが、アフリカの地において黄熱病の研究に没頭し自ら感染した野口英世博士と細菌学者でペスト菌を発見し「日本の細菌学の父」と称された北里柴三郎博士がいます。当時も今のように世界中でいろいろな細菌が発生し猛威を振るっていたと思いますが、感染防止に率先して戦う多くの知識人がことごとく細菌を研究し、撲滅することは人類の宿命ではないかと思ひます。コロナウイルスも特効薬の開発が進み「令和に発生したウイルスだったなあ」と言われる時がきつくと信じています。

今回100号の記念号が発行されますが、あくまでも通過点であり、これから先200号、300号と椎葉村が存在する限り未来永劫延々と続きます。

最後に、村民の皆様が安全で安心して生活できるよう、議員全員精一杯議会活動に尽力を惜しまなく努めていきますので、よろしくお願い申し上げます。

文責 椎葉文典

椎葉村議会テレビ生中継

12月定例会は12月8日開催予定となっています。

お問い合わせは議会事務局まで

(TEL 0982-67-3209)

是非傍聴にお越しください。

議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。